ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

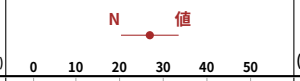
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	35c-1	調査位置								北　緯	36 ° 44 ' 44.0000 "
発注機関	栃木県日光土木事務所					調査期間	2007-09-20 ～ 2007-09-24			東　経	139 ° 30 ' 50.0000 "
調査業者名		主任技師				現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	1074.10 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 20.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	11.10 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1	1072.70	1.40	1.40		盛土(砂礫)(BS)	暗茶褐			[0.25]砕石・砂・礫・アスファルトガラが主体の盛土。下部ローム質土が混入する。		
2 3 4 5 6	1067.25	5.45	6.85		礫混じりローム(-G)	暗褐～赤褐			[2.39]火山砂・径2～10mm程度の礫が混入するローム質土。 [3.97]GL-3m以深軽石がやや多く混入し、礫の混入が少なくなる。 [5.56]含水・粘性中位。		
7	1066.00	1.25	8.10		細砂(FS)	明茶褐			[7.18]若干ロームが混入する火山灰質の細砂～粗砂。含水中位。		
8 9 10 11	1063.00	3.00	11.10		中硬岩(MR)	灰褐			[8.60]やや硬質な安山岩質溶岩。全体に割れ目の発達が顕著で、部分的に集中して砂礫状コアを呈する。		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	6	5	3	14／30	14
1.45					
2.15	1／37			1／37	1
2.52					
3.15	1／20	1／13		2／33	2
3.48					
4.15	1／9	1／9	2／14	4／32	4
4.47					
5.15	1／8	1／8	3／16	5／32	5
5.47					
6.15	1	2／13	1／7	4／30	4
6.45					
7.15	1／20	1／12		2／32	2
7.47					
8.15	50／5			50／5	>50
8.20					
9.00	50／0			50／0	>50
9.00					
10.00	50／3			50／3	>50
10.03					
11.10	50／0			50／0	>50
11.10					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						09/20
						09/21
						09/24